



イエスさまのように、おしみなくあいしあいしましょう。

いって「てんのくにはちかづいた。」とのべつたえなさい。
ただでうけたのだから ただであたえなさい。
(マタイ 10・7-8)



フォコラーレ
focolare.org/japan



じゆうにしとのことをおぼえていますか。かれらはイエスさまにえらばれ、イエスさまにしたがい、イエスさまがはなし、ひとびとをいやし、たすけるのをみました。イエスさまはたくさんのことをおしえ、それをひとびとにつたえてほしいとねがいました。



イエスさまは、かれらのじゅんぴができたとかんがえたととき、かれらをまちやとしにつかわし、すべてのひとにじぶんのおしえをつたえるようにいいました。とくに、いちばんひつようとしているひとたちをさがすようにたのみました。



そして、イエスさまはじぶんのよういきることを おもいげさせてください。おしえたり、はなしをきいたり、くるしんでいるひとたちにあいのおこないをしたりします。「あなたがたはただでうけたのだから、ただであたえなさい」といわれました。



フラヴィアのクラスに、ジョアンというあたらしいおとこのこがてんこうしてきました。あしにしょうがいがあり、あるくことがむずかしいです。「わたしはじょうずにあるけて、ほんとうによかった！」とフラヴィアはおもいました。でも、はじめのころは、ジョアンからきよをおいていました。



フラヴィアは、ジョアンをどうやってたすけたらよいかかわからず、すこしふあんでした。でも、イエスさまはびょうきのひともおしえていることをおもいげしました。そこで、ゆうきをだしてせんせいことなりにすわっていいかとたずねました。



せんせいは、「ジョアンをたすけてあげられるといいね！」とこたえました。フラヴィアは、こころのなかでイエスさまのこえをききながら、すこしずつジョアンをたすけるほうほうをみつけていきました。いまでは、フラヴィアのたすけで、ジョアンもやすみじかんにみんなといっしょにあそべるようになりました。ふたりはしあわせです！わたしたちはともだちです！いっしょにあそぶのは、とてもたのしいです。